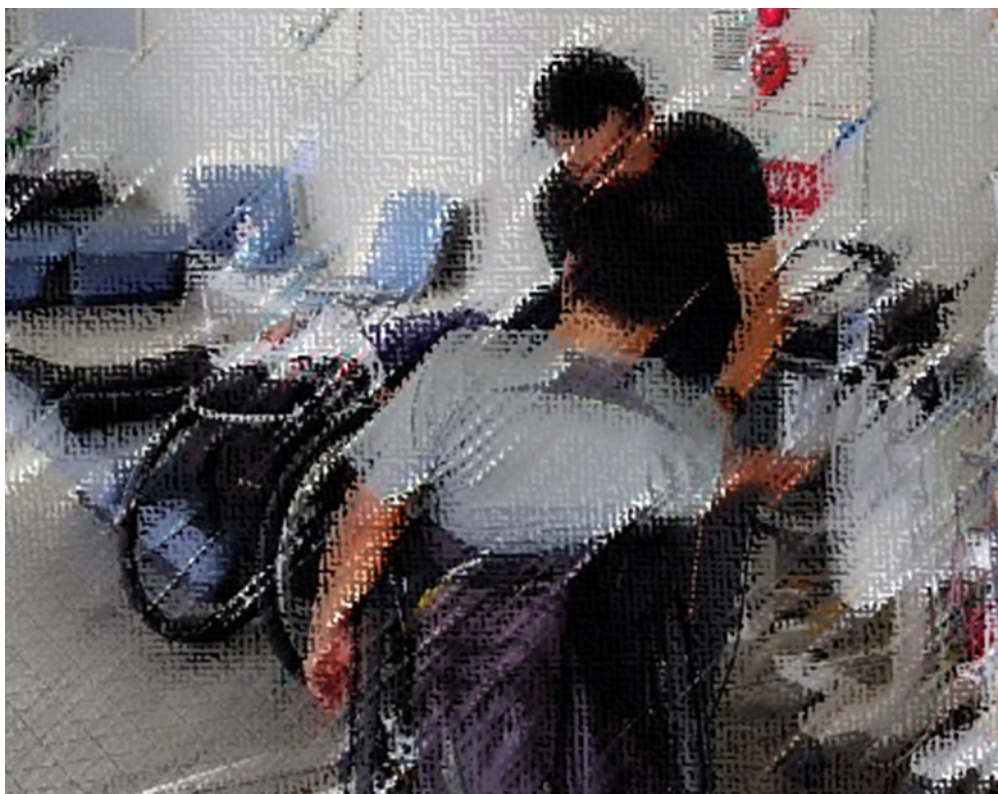


ま、あ、よんでみて！

第 **34** 号
2024年3月



【活動報告】

- 1) 大阪府障がい者スポーツ大会のフィジオサポート
- 2) 車いすテニスのフィジオサポート
- 3) 関西キッズ機器展への出展
- 4) バリアフリー展におけるブース出展とセミナー開催

発行：（公社）大阪府理学療法士会 公益事業部

〒540-0028 大阪府中央区常盤町1-4-12-301 TEL 06-6942-7233

E-mail: disabled@physiotherapist-osk.or.jp

まあ、よんでみて！

1) 活動報告：大阪府障がい者スポーツ大会におけるフィジオサポート

(公社)大阪府理学療法士会 公益事業部

氏名：西之原 隆宏

●活動概要

令和5年5月14日（日）から開催されました、第23回大阪府障がい者スポーツ大会における陸上競技（万博記念競技場）について、フィジオサポートを実施しました。この大会については、全国障害者スポーツ大会の選考会も兼ねています。

競技については、100m走などのトラック競技をはじめ、立幅跳びなどの跳躍競技、ソフトボール投げなどの投てき競技がありました。

●当日の様子

当日のコンディショニングサポートについては、身体障がい者および知的障がい者の方々を対象に実施しました。身体障がい者の方については、**競技後のケアを中心に、また障がいについてやり取りをする中で日常生活での注意点や、自主トレーニングの方法などを熱心に訊ねて**くる方もいらっしゃいました。普段、身の回り動作は自立しているものの、理学療法士などに関わる機会も少ないようで、この機会にと積極的な姿が印象的でした。知的障がい者の方については、競技前後のリラクゼーションなど実施し、競技終了後は結果を笑顔で報告して頂ける場面も数多くあり、とても癒されました。



コンディショニングや動作指導の様子



競技会場

2) 活動報告：車いすテニス大会のフィジオサポート



櫻井 先生

氏名：櫻井 礼貴（さくらい あやき）先生

所属：大阪たつみリハビリテーション病院

リハビリテーション部副主任

経歴：脳卒中認定理学療法士、運動器認定理学療法士、
徒手理学療法認定理学療法士、
地域ケア会議推進リーダー、
介護予防推進リーダー、
生野区理学療法士会理事

●活動概要

（公社）大阪府理学療法士会 公益事業部が後援している車いすテニス（大阪オープン2023）のフィジオサポートがあります。私自身2019年（2020年、2021年は新型コロナウイルスの影響により大会中止）、2022年に続いて2023年3度目のフィジオサポートに参加させて頂きました。フィジオサポートの内容としては、試合前後での選手のコンディショニングやケア（マッサージ、テーピング、アイシング、電気刺激療法など）、試合中のメディカルタイムアウト（ケガや熱中症等に対する応急処置）を実施しております。

本大会は2023年9月21日から24日の4日間、大阪市西区の靱公園で開催されました。さらに今年はフィジオサポートに興味を持ってくれた職場の後輩と共に“4日間全日程”に参加をさせて頂きました。



まあ、よんでみて！

●大会の様子

過去の参加は1日と単発でしたが、なかなか大会中の動きに慣れずあっという間に時間が過ぎていったような感覚でした。ですが今回4日間の参加によって、**選手の体調の変化に合わせたコンディショニングの調整**や、なんといってもサポートさせて頂いた選手が勝ち上がっていくと自然とこちらにも熱が入ってワクワクしました。

大会自体も**公園内に飲食店が出店していたり、書道やチアリーディングのパフォーマンスも取り入れられ、近隣住民も観戦に来られていたり**と大変盛り上がりを見せていました。



チアリーディングの様子



メディカルタイムアウトの様子

●フィジオサポートを終えて

コロナ禍によって対面形式での研修会がほとんどなくなっていました。こういった機会ですら再度**他施設の先生方と交流を図り、治療技術を学ばせて頂いたり職場での情報共有をさせて頂いたり**と非常に良い刺激になりました。

また、後輩も積極的に選手や他院の先生方とのコミュニケーションを取っており、「新鮮で楽しかったです！また来年も来たいです！」と話してくれたことが、私にとって今回参加した何よりの報酬でした。



コンディショニングブースの様子

3) 活動報告：関西キッズ機器展への出展

氏名：上原 隆浩 先生

所属：枚方総合発達医療センター

●概要

令和5年11月11日、12日の二日間、大阪南港ATCエイジレスセンターにて第4回関西キッズ機器展が開催され、大阪府理学療法士会、公益事業部として出展させて頂きました。

関西キッズ機器展は障がいのある子どもを対象とした機器展で40社以上の企業による福祉機器、補装具等の展示や相談のできる関西圏では最大級のイベントになります。また2日間で延べ2644名の来場者があり、会場は大いに盛り上がっていました。

会場は福祉機器等の出展エリアとイベントコーナーがありイベントコーナーでは「ボウリング」「ブランコ」などの体験ができ、大阪府理学療法士会、公益事業部は「ボッチャ」「eスポーツ」「エアポリン」の体験コーナーを出展しました。

●当日の様子

初日、午前中より多くの方がイベントコーナーに来られ、各コーナーを体験して頂きました。来場者は障がいのある子どもと両親、兄弟と来られている方が多くありましたが、祖父母やリハビリを担当している理学療法士が同伴されている場合もありました。

ボッチャコーナーでは経験されたことがある方もおられましたが「パラリンピックで見たことがある」と言って体験された方や兄弟の方で「この前、国語の授業で習って知ってる!」と言われるなどボッチャという競技が一般的に知られていることを実感しました。

ボッチャ体験は手で投げるほかにランプを使ってボールを転がすこともでき、口にくわえた棒でボールを転がす方もおられ、**障がいの程度に関係なくご自身のやりやすい方法で楽しま**れていました。また対戦形式で行うことが出来、家族で楽しまれていました。



まあ、よんでみて！

eスポーツコーナーでは「マリオカート」が体験できましたが、**通常のコントローラーではなく外部装置が接続できるコントローラー**を使い、アクセル、ハンドル、アイテムボタンを大きなボタンに一つずつ分け、**細かい指先での操作ができない方でも楽しめるよう**にしました。体験された方のご家族からは「この子がテレビゲームをすることが出来ると思わなかった」との感想を頂け、また兄弟で対戦され、悔し涙を流されている子もあり、改めてだれでもできる遊びの環境を作ることの大切さを感じました。

エアポリンも親子、兄弟と一緒に揺れる、跳ねるなどして楽しむことが出来、気管切開をされている方では抱っこされたままで大きく揺れる、小刻みに揺れるなど非日常的な感覚を楽しまれていました。



ボッチャの様子



eスポーツの様子

昨年までは「運動レクレーション体験会」として大阪府理学療法士会、公益事業部単独でのイベントを実施してきましたが今回、関西キッズ機器展の中で出展させて頂き、今まで以上の多くの方に体を動かす、感じる、楽しむ体験をして頂けたのではないかと思います。今後も障がいの有無に関わらず体を使って楽しめる活動をしていきたいと思っています。

4) 活動報告：バリアフリー展における ブース出展とセミナー開催

(公社)大阪府理学療法士会 職能局 理事

氏名：藤井 隆文 先生

●概要

(公社)大阪府理学療法士会職能局公益事業部で行う公益事業としてバリアフリー展（高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展：インテックス大阪）でのブース出展およびセミナー開催を毎年行っております。

2023（令和5）年は4月19日（水）～21日（金）に開催されました。今年度は3～5号館の3会場に加え、屋外にイベントステージや飲食コーナーが設けられるなど徐々にコロナ渦前の開催規模に戻ってきました。3日間の**来場者数は33,759人**（前回24,327人、前回比：138.8%）と昨年より多くの来場者がありました。また、海外からの来場者も多く見られました。公益事業部では、来場者に向け「**リハビリテーション相談**」をテーマにした**ブース**出展と「**介護技術講習～自立支援に向けた介護技術講習会～**」として**セミナー**を開催しました。大阪府理学療法士会のブースにおいては、91件の相談があり、セミナーでは67名（定員80名）の方々にご参加いただきました。

●当日の様子

ブース内では、公益事業部の活動を紹介したパネルを展示。さらに府士会が作成した理学療法パンフレットと協会が作成した「理学療法ハンドブック」を自由にお持ち帰りいただけるように設置しました。リハビリ相談コーナーでは、高齢者や介護に携わるご家族、施設職員、理学療法士を目指す学生など様々な方が来場され、リハビリテーションに関する相談に応じました。来場者は理学療法ハンドブックへの関心が非常に高く、全18シリーズ各100部計1800部用意したのですが、数シリーズでは、**用意したものをすべてお持ち帰りいただき、追加で準備**しました。このハンドブックは院内の待合室に設置したり、在宅や通所施設でセルフエクササイズの指導などを目的に配布するなど、多くの活用方法があるので様々な施設等で使用できることが望めます。セミナーでは、感染対策上、講義形式でのセミナーとなりましたが、来場者からは普段の介護場面での疑問や技術的な質問などが多くありました。

まあ、よんでみて！



セミナーの様子



ブースの様子

今回、ブースでの相談やセミナーを通して、府民の皆様へ介助方法の重要性や理学療法士の知識と技術について紹介・伝達できたと思います。また、各症状において**予防や改善を目的とした運動に対して高い関心**があることも感じられ、理学療法士の果たす役割の重要性についても理解できました。

次回は、2024年4月17日（水）～19日（金）インテックス大阪で開催予定となっております。引き続きブース出展やセミナー開催ができるよう運営に努めてまいります。

～あとかき～

(公社)大阪府理学療法士会 公益事業部の本機関誌について、今年度より紙媒体からデータでの発行となりました。今後も、公益事業部の取り組みやトピックスについて報告させていただきますので、よろしくお願い致します。

次年度事業もバリアフリー展から始まり、府士会員の皆様の協力を仰ぎながら進めていきたいと思っています。府士会ニュースやSNS等で情報を発信する予定ですので、興味のある先生方は、是非参加の程よろしくお願い致します。

謝辞：本誌の作成にあたり、快くご協力頂きました方々に心から感謝します。

編集委員：井口奈保美、植田良、木村公英、朽木友佳子、河野竜也、炭谷磨央、高森宣行、西之原隆宏、東山学史、藤野文崇、松並耀平、山川雅史（50音順）